

## 勿凝学問 120

NEWS ZERO は、来年、「医師不足」と「税のムダ遣い」の取材に力を入れるらしい  
医師不足の問題解決が遠のかなければいいが

2007年11月29日

慶應義塾大学 商学部

教授 権丈善一

昨日、水曜日はゼミの日である。朝、「今日は、お弁当付き会議があるから」と言われて、ならば僕は[風呂部](#)だなどと思いながら家を出る。一日の仕事を終え、1時間ほどゼミを延長した帰りがけに、「1時間後の8時に例の屋台でな」と学生に告げて大学を出る。

男性陣の「風呂部」に対抗して女性陣も「スパ部」をと、今回は、女の子も屋台に来る。おでん食べてビール飲んで——「スパ部・・・爆発するぞっ」っと、野郎陣からかわれながら、集まった10人みんな、そろそろと屋台から歩いて銭湯へ。

風呂をあがって、ロビーに集まり、揃って左手を腰にあてながらコーヒー牛乳を飲んでいたら、テレビではNEWS ZEROをやっていた。テレビをみながら、「そう言えば昨日、日テレ系のニュース番組が来年力を入れる企画を発表していたけど、NEWS ZEROは、医師不足<sup>1</sup>と税のムダ遣いらしいよ」と、よほど慎重にやってもらわなければZEROの企画により医師不足の解決が遠のくんだらうなあとの予測を込めながら話す。

医療崩壊の危機を強く訴える人にも、NEWS ZEROの企画と同じように、医師不足と税のムダ遣いの両輪で議論をする人もいるけど、いやはやなんとも。

本日、健康保険関係者と企業年金関係者からなる団体に呼ばれて行ってきた講演のメインメッセージは、次のようなものであった。

---

<sup>1</sup> 日テレ系の報道では、「医者不足」と表現していたが、ここでは、「医師不足」で統一する。

## いま少し大きな政府を目指しましょう

- ムダな支出をなくせば、負担増をしなくてもこの国はやっていけるという幻想
  - ムダな支出をなくす——左派系の論
- 改革(?)を進めれば成長は必ず起こるという夢
  - 成長でまかなう——右派系の論
- わたくしの論——社会保障を聖域化
  - ムダな支出を抑制して得た財源は借金の返済に回す。成長で増加した税収は借金の返済に回す。

115

Keio University  
Y Kenjoh



- 「ムダな財政支出を削減して医療に」という論法では、**今でもあまりにも小さすぎる政府しか持っていない日本**の医療費を増やすことはできそうにない——医療のために社会保険料引上げ・増税を受け入れるという、医療のための負担増を訴えるのが最も実行可能性の高い戦略である……。ムダな財政支出を削減する必要があるのは言うまでもないが、そこで削減された額は国の借金の返済に回せばよい。この国には返済すべき借金は山以上にある(他方、成長で増える税収をあてにするとという論法も存在するが、運良く増収した場合も借金の返済に回せばよい)。

- 権丈(2007)『医療政策は選挙で変える【増補版】』p.3.

116

Keio University  
Y Kenjoh



ここに「小さすぎる政府」と書いているけど、これに対して、「いやいや、特別会計を入れると日本はムダでふくらんだ大きな政府である」と言う論が流行っているようなのだよね。最近、医療関係の講演ではかなりの確率で質問が出てくる。

誰だいたい、そんな一知半解な素人論議を流行らせたひとは(T\_T)トホッ

質問が出ると、最初はその都度説明していたけど、最近は面倒なので、講演内容の一番

おわりに「最後に 特別会計」と称して説明するようにしている。けど、今日は眠いのでこの話はここまで。

さてさて。

企業年金関係者と健康保険関係者からなる団体からは、医療と年金の両方の話を 90 分でして欲しいということであった。そこで、次の演題で講演をしてきた。

**年金騒動と深刻な医療問題について**  
**政争の具としての年金騒動と**  
**早急に解決の道筋を示してくれるのを待つ深刻な医療問題**

『医療年金問題の考え方』を出したりして「社会保障のワンストップサービス」を目指す当方としては、年金と医療の問題を比較しながら存分に話すことのできるこうした講演は、なかなか楽しいものである。といっても、このテーマで 90 分じゃ、さすがに時間が足りないけどね。